



現地木材で休憩所を建設
「塩の道」を歩いて地域活性化！

- 活動時期 → 年中
- 活動場所 → 香美市内
- 主な活動メンバー
塩の道香美市保存会のみなさん

■自然の中の道を歩いてもらい“今あるもの”を次世代に残したい。

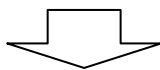
(取り組み内容)

◆塩の道の保存と継承

～現地木材による休憩所の建設～

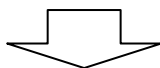
塩の道とは、大栃から赤岡までの「昔の往還道」であり、塩や雑貨などを運んだ道である。しかし、すでに廃道になっており、これをなんとか地域おこしに活かしたいと、平成12～14年の間、県の「都市と農村の交流事業 グリーンツーリズム」でワークショップなどを行い、整備・保存・管理・そして次世代への継承に動き始めた。平成15～17年には、体験型観光でモニターツアーなどを行った。

しかし、この全長約30kmにもおよぶ塩の道には休憩所がなく、気軽にウォーキングを楽しむことが難しかった。そこで…



「休憩所を建設しよう！」

自然の中にある休憩所なので木を活かした休憩所にしたい！



“その場に生えていた木”を切って
休憩所の建設を行う。

休憩所は、平成17年9月半ばから建設を開始し平成18年3月に完成した。



休憩所の利用風景



塩の道ウォーキング



塩の道を伝える

◆休憩所建設までの流れ

- ① 具体的な休憩所の計画案作成
- ② 土地の購入
- ③ 補助金への申請
- ④ 大工への依頼
- ⑤ みんなで協力して建設

◆資金について

休憩所の建設には約180万円かかっている。
本来ならばもう少し安価に仕上げることが可能であったが、環境のことを考え、そこにある木を丸太で使うことにこだわり建設した。

◆取り組みの成果

平成16年12月に日本ウォーキング協会が選定した「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれた。その頃より、行政支援を頂けるようになった。



ウォーキングの参加者が自然の中を歩くことを楽しんでくれる姿が何より嬉しい！



会長の公文さん



そこにあった人工林を切って利用



多い時には10~45人で作業



大雪で作業できない日も…



音楽会も実施されました！

◆取り組みを進めるためのポイント

★計画には“具体的な案”が必要。

例えば今回の建設を行う場合、しっかりとした建設案をつくることによって補助金の申請を行うことができた。同様の計画の経験者に関わってもらえることができれば、よりスムーズに進めることができる。

★住民主体の地域おこし

地域おこしは、住民が主体的に活動して、その後で行政に手助けしてもらいやすい。いろいろな特殊技能を持っている人に協力してもらえればいい。住民主体でやることによって、新聞などのマスコミにも取り上げてもらいやすい。

(平成21年10月現在)

